

平成 26 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 村上 史朗

最終学歴	東京大学大学院人文社会系研究科博士課程 単位取得満期退学	
取得学位	博士（社会心理学） 東京大学大学院人文社会系研究科 2008年4月	
所属学会	日本社会心理学会、日本心理学会、日本グループ・ダイナミクス学会、Society for Personality and Social Psychology、日本火災学会	
専門分野	社会心理学	
研究課題	社会的規範の機能的側面に関する研究	
授業科目	学部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・社会心理学研究法Ⅱ（後期） ・社会心理学応用実習Ⅰ・Ⅱ（前期・後期） ・文化心理学（前期） ・社会心理学特殊講義Ⅰ（前期） ・社会心理学特殊講義Ⅳ（後期） ・社会心理学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ（前期・後期）
	大学院修士課程担当科目（博士前期課程含）	<ul style="list-style-type: none"> ・社会心理学特論Ⅰ（二）（前期） ・ ・ ・
	大学院博士後期課程担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ・ ・ ・
	通信教育部担当科目	<ul style="list-style-type: none"> ・心理学基礎（集中） ・ ・ ・
【研究上の特記事項】	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文部科学省科学研究費 新学術領域研究「法と人間科学」（領域代表：仲真紀子（北海道大学））において、責任概念班（代表：唐沢穰（名古屋大学））の研究分担者を務めた。 2. 文部科学省科学研究費 基板研究B（代表：山口勲（東京大学））の研究分担者を務めた。 3. 奈良大学研究助成 	
【教育上の特記事項】	平成26年度社会心理学応用実習Ⅰ・Ⅱの報告書（学内外向け）を作成した。	
【社会的活動】	日本社会心理学会「社会心理学研究」編集委員	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	情報処理センター運営委員会委員、博物館委員、ネットワーク委員会委員、カリキュラム改革実行委員会委員、FD委員会委員 サッカー部・フットサルサークル・ダンスサークル顧問	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①				
②				
③				
④				
⑤				
(学会発表)				
①対人的脅威が潜在的自尊心の補償的高揚に及ぼす効果	単著	2014年7月	日本社会心理学会第55回大会	ポスター発表
②信頼性判断における一般的信頼の限定的効果	共著	2014年7月	日本社会心理学会第55回大会	林直保子・村上史朗 ポスター発表
③対人的信頼性判断の確信度が信頼性情報の処理に及ぼす効果	共著	2014年9月	日本グループ・ダイナミックス学会第61回大会	林直保子・村上史朗 ポスター発表
④				
⑤				
(その他)				
①不正を予防する組織風土—インセンティブを超えて		2014年12月	日本監査役協会関西支部講演会	招待講演
②				
③				
④				
⑤				